

# 第1回秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

## 【資料3】

「守りたい秋田の里地里山50」推薦地域について

平成29年度

# 「守りたい秋田の里地里山50」募集要領

## 第1 趣 旨

急傾斜地に広がる棚田などの農地は、これまで、地域の先人たちの絶え間ない努力によって保全されてきましたが、急峻・狭小であるなど、地形上、厳しい生産条件の下に置かれているほか、近年の過疎化、高齢化の進行により、維持管理が困難な状況に直面しており、その荒廃が懸念されています。

一方、これらの農地は、冷涼な気候などを活かした多彩な作物の生産地域であるとともに、急峻な地形を巧みに利用した営農の継続を通じて、下流地域での洪水発生抑止や地下水涵養など、単に生産基盤にとどまらない多様な公益的機能を担っていることが再認識されており、県内においても多くの地域で、地域住民が主体となった保全活動が続けられています。

こうしたことから、農山村地域の農地が有する公益的機能を県民共有の財産として次世代に引き継ぐため、地域住民が主体となって優れた景観を維持管理していることに加え、自然・文化・歴史・人など多様な地域資源を活用し、環境・交流活動にも取り組んでいる地域を、「守りたい秋田の里地里山50」として募集します。

県では、認定された地域で取り組まれている活動を優良事例として紹介し、農地の維持・保全の取組に関する普及啓発を行うとともに、その魅力を積極的に発信することによって、これらの農地の維持活動を通じた交流拡大のための取組や、県内外の企業や大学等と協働で行う里地里山の保全活動等を支援することとしています。

なお、「50」は、住民による主体的な保全活動や環境・交流活動に取り組む地域が将来的に県内で50か所以上となるよう目標数値として掲げたものです。

## 第2 対象地域について

対象とする地域は、次の項目を満たす箇所とします。

- 1 地形勾配が概ね1/20以上の急峻な水田を含み、営農が一体的な1ha以上の広がりがあり、維持管理が行き届いていること。
- 2 地域住民が参加する景観・環境を保全する活動や、地域資源を活かした交流活動などに取り組んでいるか、または予定していること。
- 3 1及び2に準じる地域として当該市町村長が特に認める地域。

## 第3 応募対象者

- 1 地域住民（自治会等の地元組織）による応募（自薦）
- 2 市町村による応募（他薦）

## 第4 応募方法

- 1 地域住民による応募の場合（自薦）
  - （1）募集期間内に、市町村にお申し出ください。
  - （2）申し出を受けた市町村は、内容を精査のうえ、推薦調書（別紙1）を作成して別記様式第1号により所管する地域振興局長を経由し、秋田県農林水産部長に提出してください。
  
- 2 市町村による応募の場合（他薦）

募集期間内に、推薦調書（別紙1）を作成して別記様式第2号により、所管する地域振興局長を経由して秋田県農林水産部長に提出してください。

なお、この場合は、地域住民（自治会等地元組織）から、推薦について事前に了承を得ておいてください。

## 第5 対象地域の確認および認定方法

- 1 確認方法

第4により推薦された地域については、推薦調書（別紙1）に基づき、地域の状況や特色等について県が現地を確認します。
- 2 認定方法
  - （1）県の第三者委員会である「秋田県農山村ふるさと保全検討委員会」で審議し、秋田県農林水産部長が認定します。
  - （2）評価する項目については、別紙2によるものとします。

## 第6 認定された地域のメリット

- 1 県のホームページ等でPRし、魅力を積極的に発信します。
- 2 棚田等の保全に関する全国研修会「全国棚田サミット」等に、予算の範囲内で参加することができます。
- 3 農林水産部農山村振興課が所管する基金を活用した事業を優先的に進めていきます。
- 4 県内外の企業や大学等と協働で行う里地里山の保全活動等を支援します。
- 5 農地中間管理機構等から新たに農地を借り受ける場合に、借受者が賃借料相当の助成金を受けることができます。
- 6 県の「元気な中山間農業応援事業」の対象地域となります。
- 7 その他ソフト面、ハード面から支援します。

## 第7 応募期間及び今後のスケジュール

- 1 応募期間 平成29年4月10日（月）～平成29年6月30日（金）
- 2 現地確認 平成29年7月～8月（予定）
- 3 選定地域の決定 平成29年9月上旬（予定）

附 則 本要領は平成29年4月5日から施行する。

様式第 1 号（要領第 4 号の 1 関係）

平成 年 月 日

秋田県農林水産部長

市町村長 印

「守りたい秋田の里地里山 5 0」への応募について

このことについて、次の地域より応募があり、内容を精査したところ、募集要領の趣旨に  
合い、対象地域の条件を満たしていることから、別紙 1 により推薦します。

1 ○○地域

様式第 2 号（要領第 4 号の 2 関係）

平成 年 月 日

秋田県農林水産部長

市町村長 印

「守りたい秋田の里地里山 5 0」への応募について

このことについて、次の地域を別紙 1 により推薦します。

1 ○○地域

(別紙2)

選定地域の評価項目

項 目	評価ポイント
景 観	地域住民の維持管理による優れた景観を有していること。 ・昔ながらの棚田の景観を保っているもの（不整形田） ・基盤整備されたが、整備後の直線的な美しさ等を有しているもの ・手入れが行き届き美しいもの ・周囲の山や家屋のたたずまいと調和し、いわゆる日本的な風景を感じさせるもの などを評価
地域住民 の活動状況	地域住民が参加する景観・環境を保全する活動や、地域資源を活かした交流活動などに取り組んでいる地域、または予定している地域であること。
P R ポイント (加点)	歴史を有する点や、伝統文化の継承に関する点など幅広く評価できること。 ・歴史を有するもの ・伝統文化の保存に関係しているもの ・特色ある地域資源を有するもの ・地域ぐるみの保全活動を展開しているもの ・地域の人々の暮らしの支えとなっているもの ・他地域にないような農地の景観を有するもの などの項目を評価

## 「守りたい秋田の里地里山50」推薦地域について

### 1 募集期間

募集要領第7の1のとおり、平成29年4月10日から6月30日まで実施

### 2 応募地区数

7市町から合計8地域 推薦

### 3 現地の確認

- 募集要領第5の1により県が現地を確認（全地域）
  - 8月21日 萱ヶ沢（秋田市）、長坂（由利本荘市）、滝（由利本荘市）
  - 8月29日 中飯沢（羽後町）
  - 9月20日 水沢（鹿角市）、大地（小坂町）
  - 9月22日 釜坂（大仙市）、白岩（仙北市）

### 4 評価について

- 募集要領第5の2の（2）により県が実施
- 評価は景観（10）、活動状況（20）、PRポイント（20）合計50点満点とし、審議の対象は35点以上

### 5 認定について

- 募集要領第5の2の（1）により、委員会で審議し、秋田県農林水産部長が認定

### 6 認定後のサポート等について（募集要領第6）

- 認定地域を県のホームページ等でPRし、魅力を積極的に発信することとしており、今年度、情報発信推進員を選定して各地域の情報をHPにアップし、県内外にPR。（10月末時点 7地域）
- 棚田等の保全に関する全国研修会等に、予算の範囲内で参加することができることとしており、今年度は9月28日～29日に開催された全国棚田サミット（長崎県波佐見町）に1名を派遣。（茂内屋敷地域）
- 農林水産部農山村振興課で実施する、基金を活用した事業を優先的に進める

こととしており、ふるさと秋田応援事業で2地域（余目、塚須沢）の活動に対し支援。


- 今年度から県内外の企業や大学等と協働で行う里地里山の保全活動等を支援することとし、里地里山のサポート活動支援事業で4地域（小割沢、戸鳥内、中台、安全寺）、里地里山の営農継承支援事業で2地域（戸鳥内、中台）の活動に対し支援。
- 今年度から、県の「元気な中山間農業応援事業」の対象地域に設定。
- その他ソフト面、ハード面から支援。




# 守りたい秋田の里地里山50 認定・推薦地域位置図


## 秋田県管内図

No.	地域名	所在地
25	水沢	鹿角市八幡平
26	大地	小坂町大地
27	萱ヶ沢	秋田市雄和
28	長坂	由利本荘市長坂
29	滝	由利本荘市滝
30	釜坂	大仙市南外
31	白岩	仙北市角館町
32	中飯沢	羽後町飯沢

 H29年度推薦地域

No.	地域名	所在地
1	小割沢	鹿角市八幡平
2	茂内屋敷	大館市雪沢
3	別所	大館市十二所
4	八木沢	上小阿仁村沖田面
5	阿仁小椋	北秋田市阿仁
6	阿仁戸島内	北秋田市阿仁
7	横倉	藤里町藤琴
8	中台	八峰町峰浜水沢
9	谷地田	五城目町内川浅見内
10	黒土	五城目町内川黒土
11	帝釈寺	五城目町馬場目
12	安全寺	男鹿市北浦
13	須郷	由利本荘市東由利
14	横岡	にかほ市象潟町
15	余目	大仙市内小友
16	七滝	美郷町六郷東根
17	三又	横手市市内
18	狙半内	横手市増田町
19	塚須沢	横手市大森町
20	中ノ台	湯沢市皆瀬
21	土沢	湯沢市山田
22	落合	羽後町軽井沢
23	岩井川	東成瀬村岩井川
24	手倉	東成瀬村椿川

 H27年度認定地域

 H28年度認定地域

「守りたい秋田の里地里山50」 推薦地域

No.	地域名	所在地	現地の状況	評価点	評価のポイント
25	水沢 (みずさわ)	鹿角市八幡平		40	標高が高く、平均1反歩ほどの田が点在する急傾斜地帯であるもの、地域住民で構成される農業者団体によって手入れが行き届いており、次世代に残すべき自然や風景が保たれている。
26	大地 (だいち)	鹿角郡小坂町		42	平成27年度から、耕作放棄地を守るためにひまわりを植え景観を保全しているとともに、ひまわりの種から搾油して「大地のひまわり」として商品化するなど、特徴的な取組を行っている。
27	萱ヶ沢 (かやがさわ)	秋田市雄和		42	国際教養大の学生とマコモダケの生育状況調査や、卸売市場にて市場祭りに参加しているほか、江戸時代から続く「萱ヶ沢番楽」を通じて、交流活動に取り組むなど、地域の魅力発信に努めている。
28	長坂 (ながさか)	由利本荘市		40	貴重な動植物が生息する加田喜沼湿原を、地域一体となって平成13年から保全し始め、同年11月に環境省の重要湿地に、14年2月には由利本荘市の天然記念物やに指定されている。
29	滝 (たき)	由利本荘市		40	急峻な地形でありながら、農地を良好に維持管理しており、非常に優れた景観であるほか、地域住民が一体となって行事に取り組むなど結びつきが強い。
30	釜坂 (かまさか)	大仙市南外		42	農地及び周辺環境の保全と景観維持が積極的に行われており、美しい景観を維持しており、直売所を設置するなど、交流も図られている。

「守りたい秋田の里地里山50」 推薦地区

No.	地区名	所在地	現地の状況	評価点	評価のポイント
31	白岩 (しらいわ)	仙北市角館		41	平成14年から地域住民による「白岩村おこし～プロジェクトS～」が立ち上がり、ヒデコやトンビマイタケの栽培で村おこしを行っている。
32	中飯沢 (なかいいざわ)	羽後町飯沢		42	昭和48年に国指定重要文化財に指定されている鈴木家住宅が地域にあり、現在も所有者家族が居住してるなど、茅葺屋根のある原風景を守り続けている。

項目	配点	評価点	評価ポイント	写真
景観	非常に優れている 10点 優れている 7点 普通 5点	10点	標高が高く、平均1反歩ほどの田が点在する急傾斜地帯であるもの、地域住民で構成される農業者団体によって手入れが行き届いており、次世代に残すべき自然や風景が保たれている。	
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数 集落の半数以上が参加 10点 集落の3割以上が参加 7点 その他(3割未満) 5点	10点	日本型直接支払制度を活用し、集落の半数以上が参加して農地の維持保全を行っている。	
	(2) 活動の継続年数 5年以上 10点 3年以上 7点 その他 5点	10点	平成12年から中山間地域等直接支払交付金による活動を続けている	
PRポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※(項目数)×5点	10点	明治時代から続く水沢盆踊りを守り続けており、例年50～60人の参加のもと、地域の結束が図られている。	
			ホタルが飛び交う環境を保全している。	(写真なし)
計		40点		

(別紙1)

## 「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

### 1 棚田等の概要

市町村名	鹿角市			
地域の所在地	秋田県鹿角市八幡平 水沢地域			
棚田等の名称	八幡平 水沢地域			
棚田等の状況	総面積	37.2ha	棚田等の枚数	289枚
	作付面積	21.2ha	標高	390~460m
	自己保全面積	16.0ha	傾斜	1/9~1/20
	耕作放棄面積	ha		
地域内に日本型直接支払制度(多面的機能支払・中山間地域等直接支払)を活用している組織がある場合				
【組織名】水沢農地保全管理組合				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				
別添参照				

### 2 推薦の理由

標高が高く、平均1反歩ほどの田が点在する急傾斜地帯であるものの、地域住民で構成される農業者団体によって手入れが行き届いており、次世代に残すべき自然や風景が保たれている。

### 3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

地域住民により営農・保全が行われており、農業生産活動等の継続が困難な農用地が発生した場合の支援体制についても構築されている。

#### 4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

中山間地域等直接支払交付金事業に取り組んでおり、地域住民により農地、農道、水路等の維持管理作業が行われている。また、夏には集落内で地域住民による盆踊りが開催されている。

#### 5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

集落内に狭隘な田が点在しているものの、地域住民による管理が徹底され美しい景観が保たれている。また、集落内にはホタルが生息しており、6月下旬から7月上旬にかけて見ることができる。

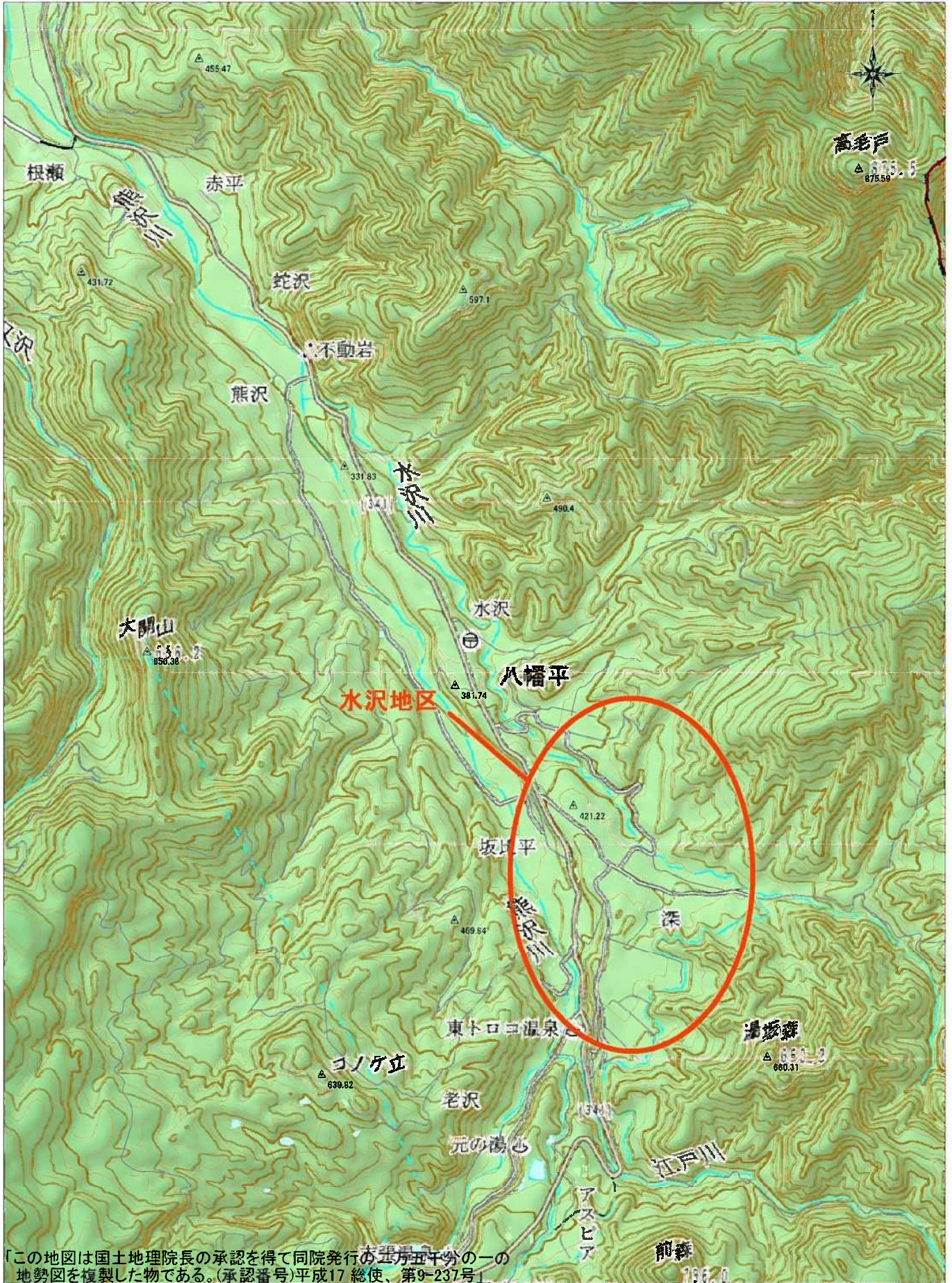
#### 6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	所属	水沢農地保全管理組合、鹿角市 農林課 農地林務班
	職名・氏名	職名：主査 氏名：中村 克也
	電話番号	0186-30-0246

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付



UserID = 13627



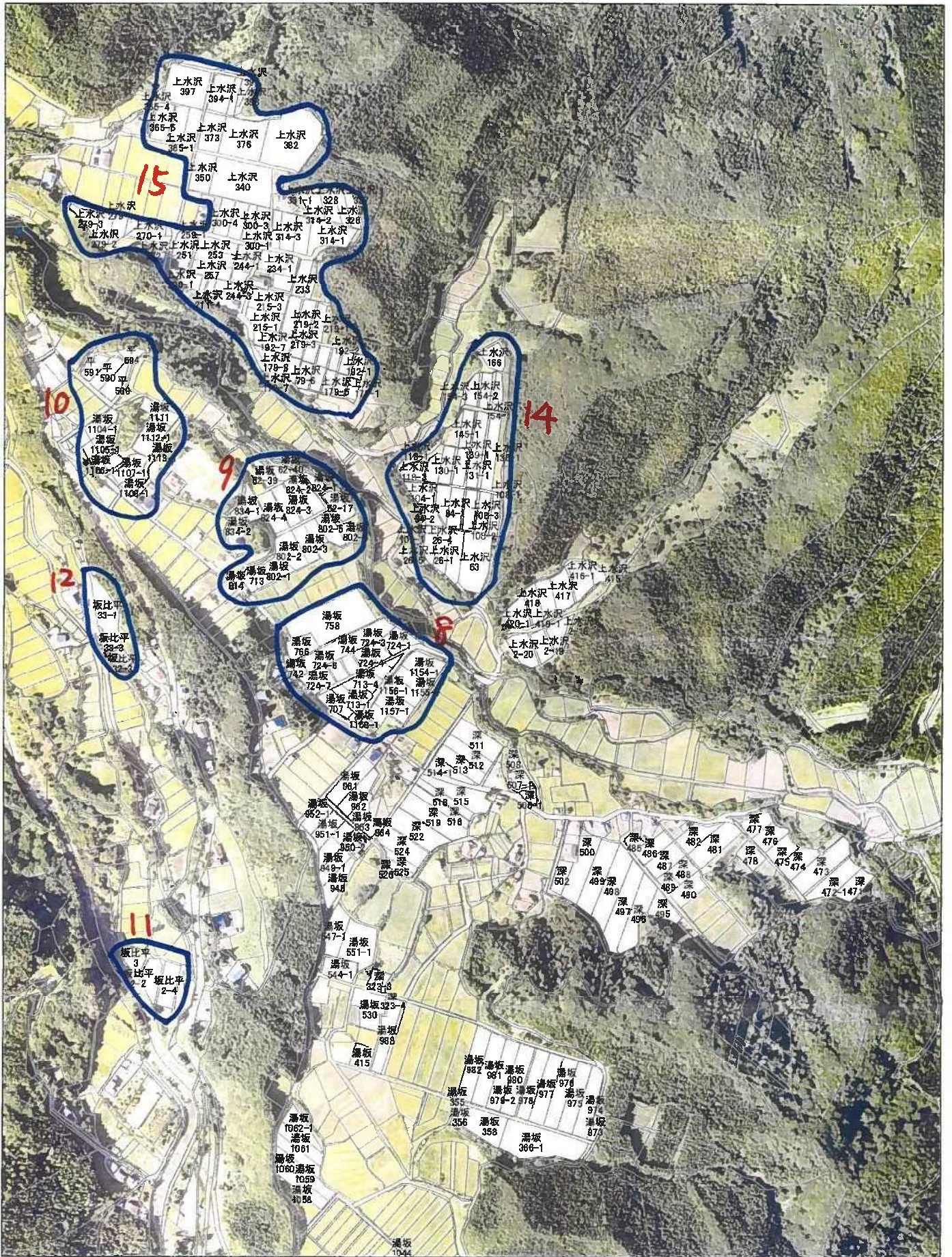


水沢地区 平面図 1/3



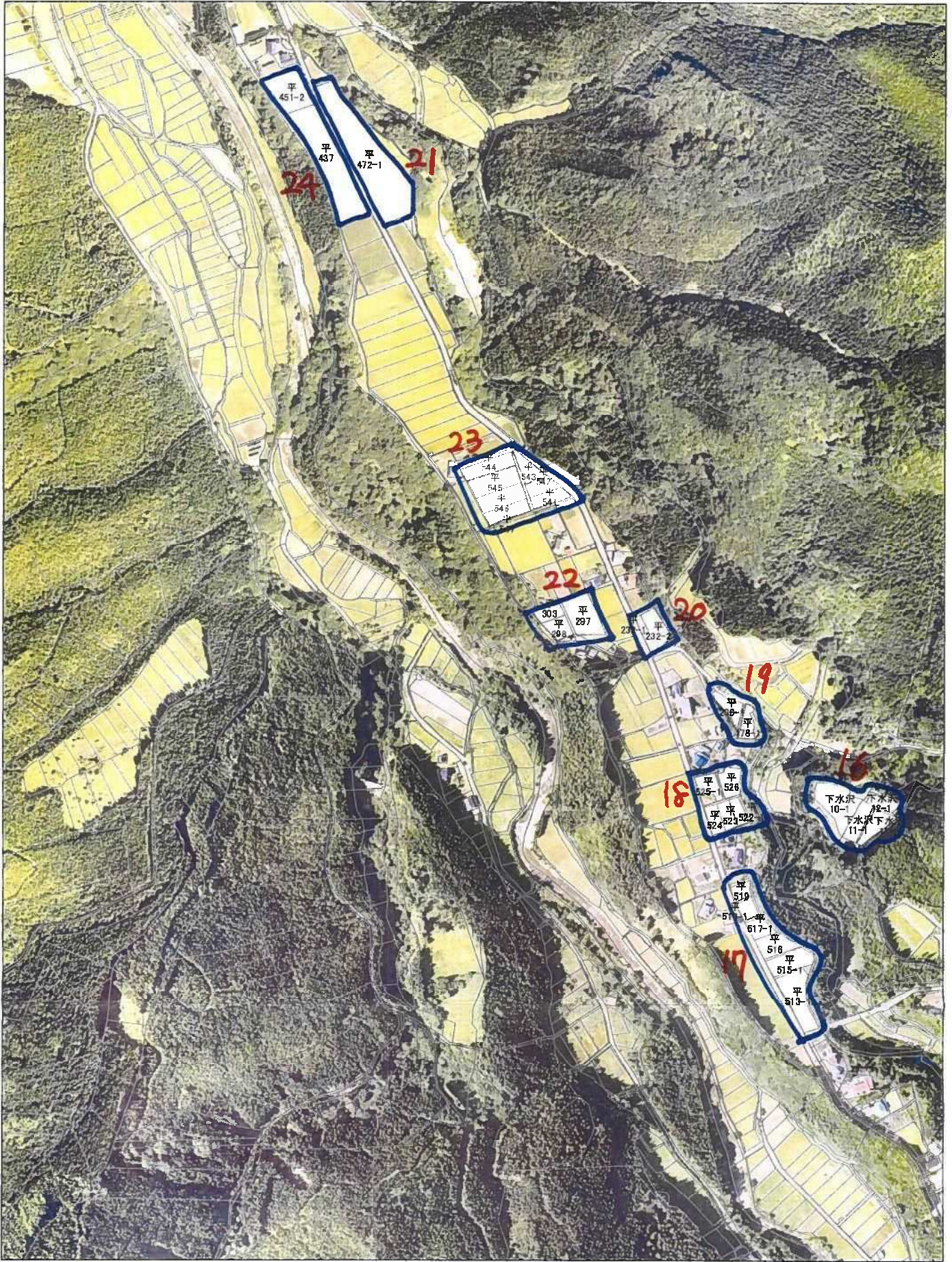
1:5,000





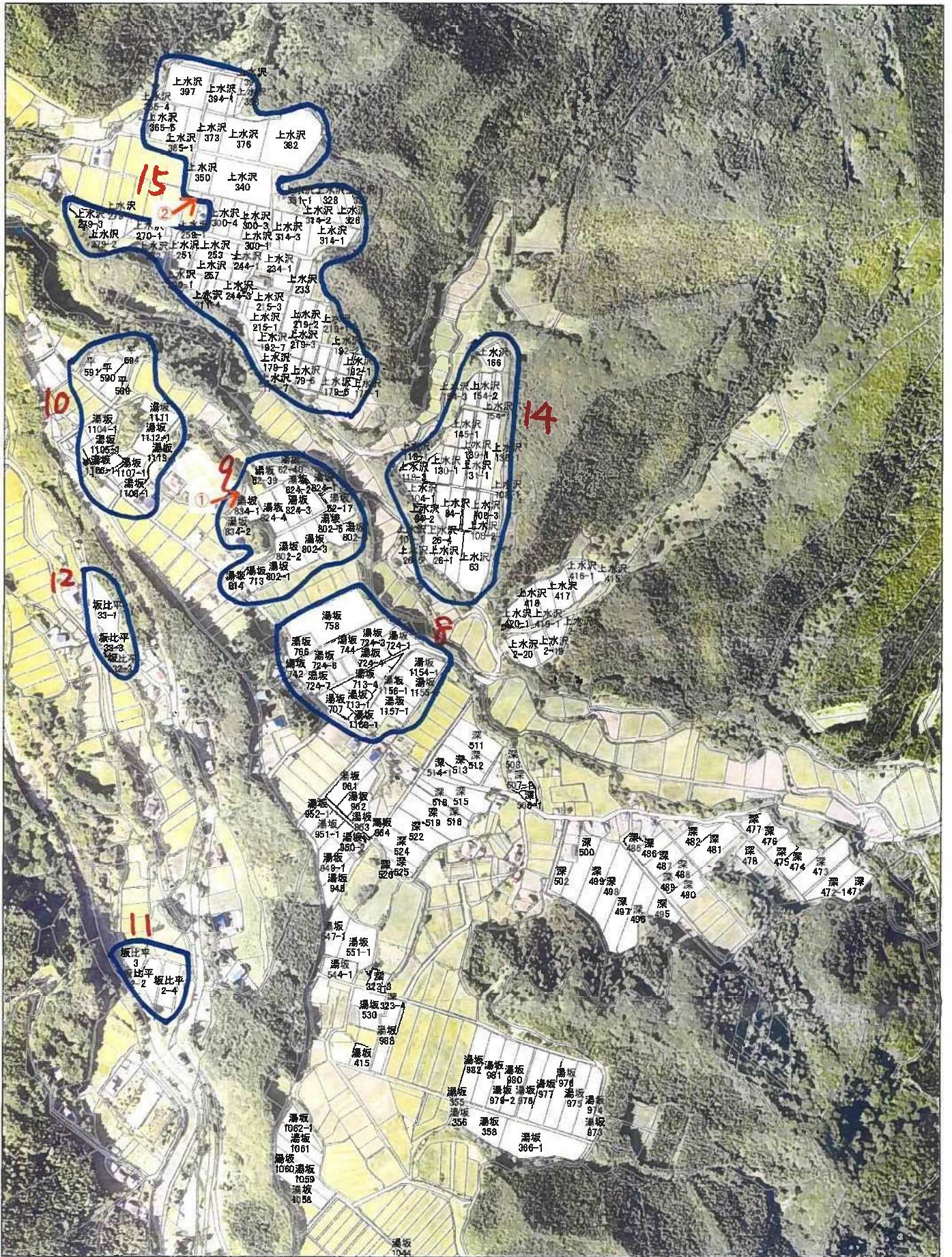
水沢地区 平面図 2/3





水沢地区 平面図 3/3





水沢地区 写真位置図







写真番号①



写真番号②



項目	配点	評価点	評価ポイント	写真
景観	非常に優れている 10点 優れている 7点 普通 5点	10点	農業者団体によって手入れが行き届いており、次世代に残すべき自然や風景が保たれている。また、夏にひまわりが咲き誇る景観が優れている。	
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数 集落の半数以上が参加 10点 集落の3割以上が参加 7点 その他(3割未満) 5点	10点	住民のほぼ全員が共同活動に参加し、優れた景観を保全している。	
	(2) 活動の継続年数 5年以上 10点 3年以上 7点 その他 5点	7点	平成27年から中山間地域等直接支払交付金による活動を続けている。	
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※(項目数)×5点	15点	平成27年度から、耕作放棄地を守るためにひまわりを植えている(1.6ha)	
			ひまわりの搾油も実施し、「大地のひまわり」として商品化するなど、特徴的な取組を行っている。	
			老人クラブや子供会などと連携して地域清掃を行っている。	
計		42点		

(別紙1)

## 「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

### 1 棚田等の概要

市町村名	小坂町			
地域の所在地	秋田県鹿角郡小坂町 大地地域			
棚田等の名称	小坂町 大地地域			
棚田等の状況	総面積	1.6 ha	棚田等の枚数	27 枚
	作付面積	ha	標高	132~143m
	休耕面積	ha	傾斜	1/15~ 1/30
	耕作放棄面積	ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合				
【組織名】大地農地管理組合				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				
別添参照				

### 2 推薦の理由

地域の農地は地域住民で構成される農業者団体によって手入れが行き届いており、次世代に残すべき自然や風景が保たれている。また、ひまわりの作付け及び搾油事業を実施しており、「大地のひまわり」として商品化するなど、特徴的な取組を行っている。

### 3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

地域住民により営農・保全が行われており、草刈りや地域清掃など、集落全体での共同活動を行っている。

#### 4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

多面的機能支払交付金事業に取り組んでおり、地域住民により農地、農道、水路の維持管理作業が行われている。また、老人クラブや子供会などと連携して地域清掃を行っており、地域での共同活動が活発に行われている。

#### 5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

ひまわりの作付け及び搾油事業に取り組んでおり、「大地のひまわり」として、ひまわり油を販売している。

#### 6 その他

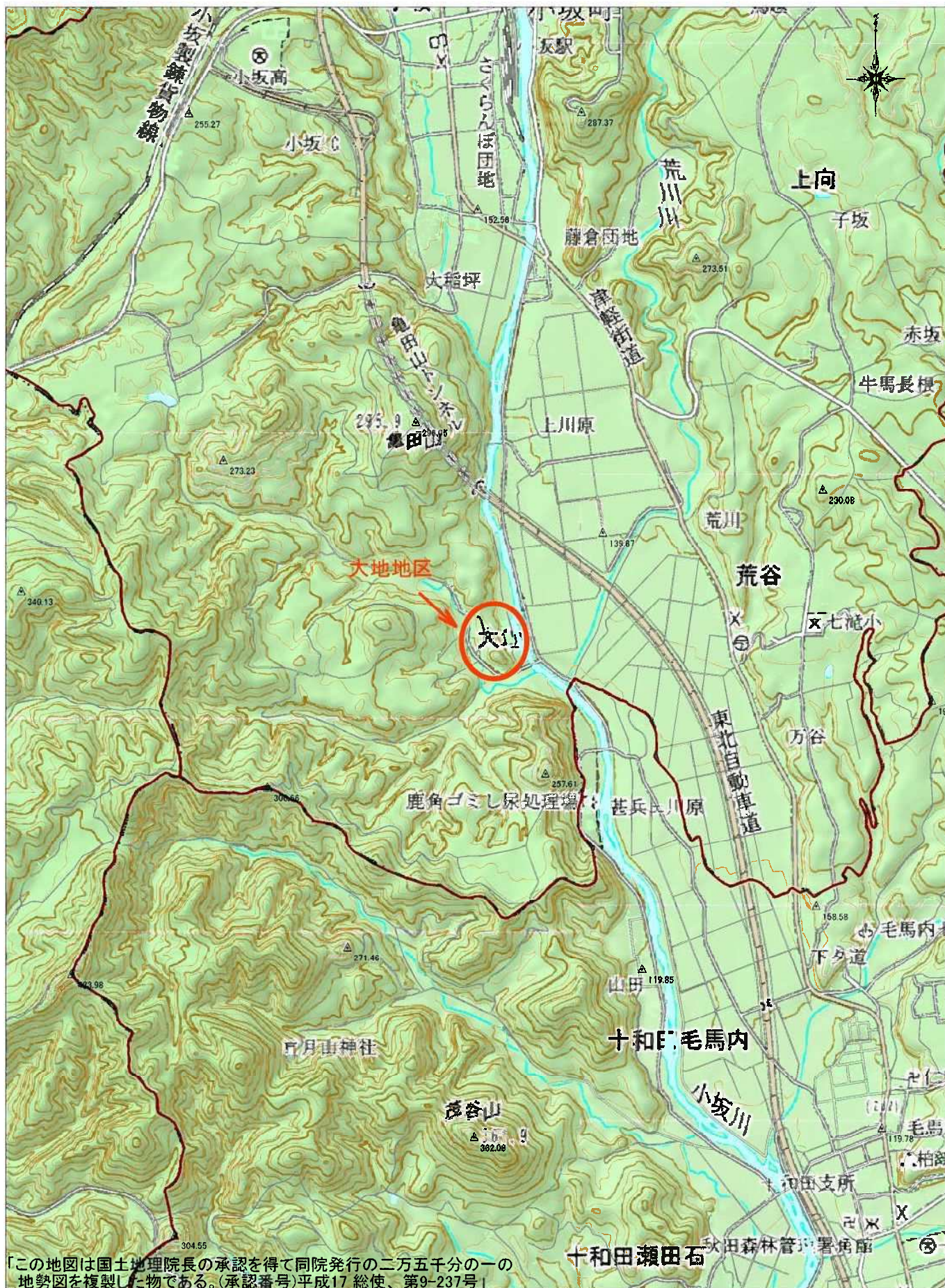
《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	所属	大地農地管理組合、小坂町（観光産業課）
	職名・氏名	職名：主査 氏名：田村 大介
	電話番号	0186-29-3912

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付

# 大地地区 位置図



「この地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の二万五千分の一の地勢図を複製した物である。(承認番号)平成17 総使、第9-237号」

UserID = 13627

(中央) 1/25000

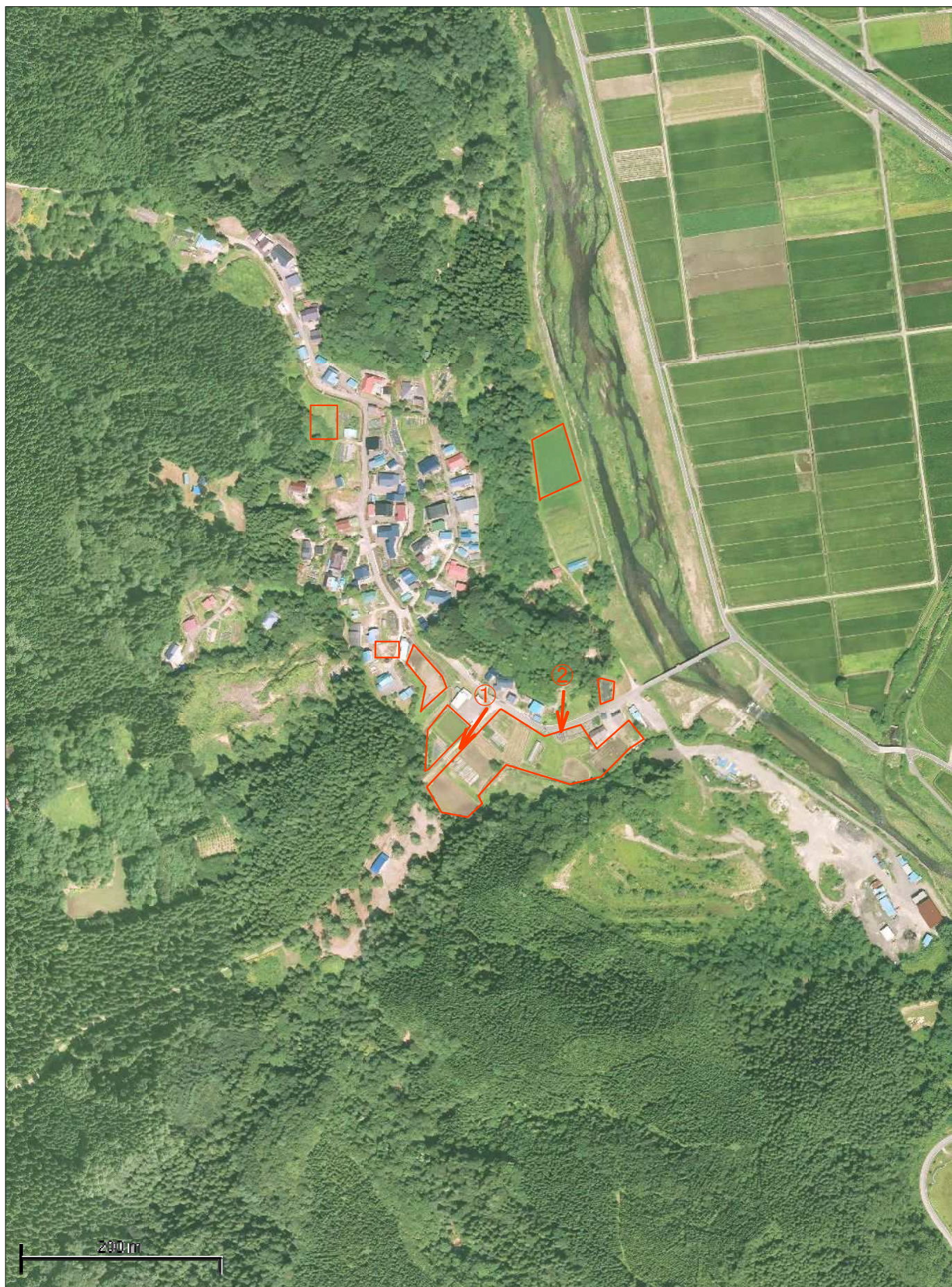




守りたい秋田の里地里山50 大地地区 平面図



守りたい秋田の里地里山50 大地地区 写真位置図



写真番号①



写真番号②



参考写真



項目	配点	評価点	評価ポイント	写真
景観	非常に優れている 10点 優れている 7点 普通 5点	10点	地域住民が一体となって農地の保全・管理に取り組んでおり、優れた景観を維持している。	
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数 集落の半数以上が参加 10点 集落の3割以上が参加 7点 その他(3割未満) 5点	10点	日本型直接支払制度を活用し、集落の半数以上が参加して農地の維持保全を行っている。	
	(2) 活動の継続年数 5年以上 10点 3年以上 7点 その他 5点	10点	平成13年から26年度まで中山間地域等直接支払交付金による活動を実施し、平成27年度からは多面的機能支払交付金を活用し活動を続けている。	
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※(項目数)×5点	15点	国際教養大の学生とマコモダケの生育状況調査や、卸売市場にて市場祭りに参加するなど、地域の魅力発信に努めている。	
			江戸時代から続く「萱ヶ沢番楽」が伝承され、地域の小学生を対象にした活動や国際教養大学の学生との交流活動に取り組んでいる。	
			地元の青年会2人と国際教養大の学生が地域貢献の一環として「ナマハゲ」を新たな伝統行事として活動を開始した。	(写真なし)
計		45点		

(別紙1)

## 「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

### 1 棚田等の概要

市町村名	秋田市			
地域の所在地	秋田市雄和萱ヶ沢地内			
棚田等の名称	萱ヶ沢地区			
棚田等の状況	総面積	48ha	棚田等の枚数	100枚/10a
	作付面積	35ha	標高	21~47m
	休耕面積	0ha	傾斜	1/15~1/40
	耕作放棄面積	0ha		
地域内に日本型直接支払制度(多面的機能支払・中山間地域等直接支払)を活用している組織がある場合				
【組織名】 萱ヶ沢地域資源保全会				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				

### 2 推薦の理由

江戸時代の天明期が起源とされる「萱ヶ沢番楽」が保存・伝承されている。地域の小学生を対象にした伝承活動、国際教養大学の学生との交流活動に取り組むなど、地域の魅力発信にも努めている。

### 3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

現在の営農は大半が水稻作付けであるが、転作作物としてマコモダケの栽培もされている。農道や水路の保全部管理は、多面的機能支払交付金等を有効活用し、地域の美化活動や農地の保全・管理に地域住民が一体となって取り組んでいる。

また、秋田市園芸振興センターの新規就農研修を修了した県外出身者が就農し、新たな担い手としても期待される。

#### 4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

萱ヶ沢地区では「中山間地域直接支払交付金制度」を活用して棚田の保全に取り組んできたが、平成26年度からは地域全体で「多面的機能支払交付金制度」を有効活用し、地域の美化活動や農地の保全に地域住民が一体となって活動に取り組んでいる。

また、少子化、高齢化が進行していることから、国際教養大学の学生との交流活動などを通じて地域社会の活力維持を図っている。

#### 5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

萱ヶ沢地区には、1700年代後半の天明期が起源とされる「萱ヶ沢番楽」（秋田市指定無形民俗文化財）が伝承されており、日枝神社例祭（5月16日）・旧盆（8月14日）・舞納め（11月上旬）の三大行事において、獅子頭や番楽面を使った勇ましい番楽が演じられている。

萱ヶ沢番楽保存会が小学生を対象とした練習会や発表会などの保存活動を行っている。

#### 6 その他

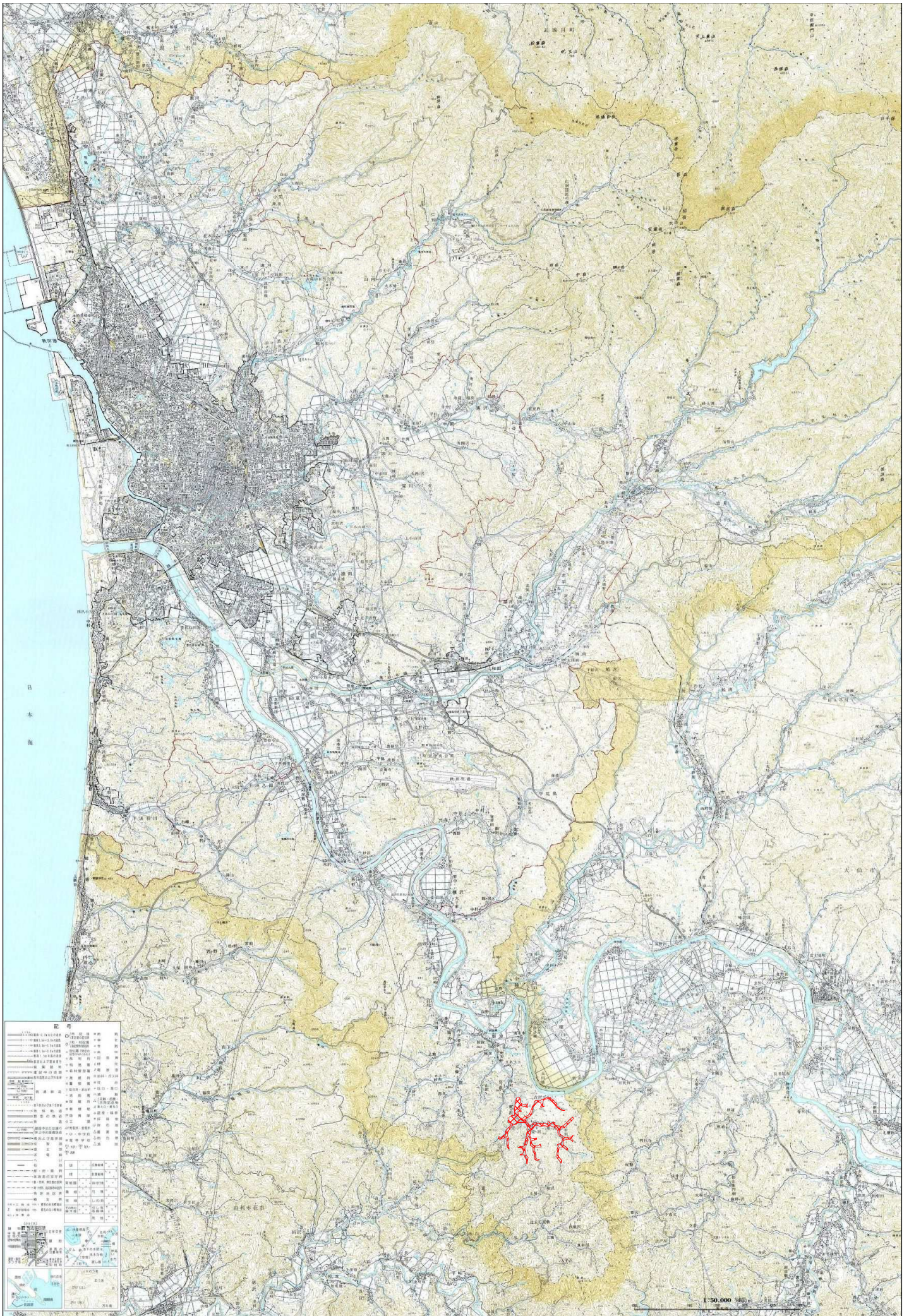
《その他特徴的な事項があれば記載》

担当連絡先	所属	秋田市産業振興部農地森林整備課整備担当
	職名・氏名	職名：主席主査 氏名：石川敏彦
	電話番号	018-888-5740

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付















項目	配点	評価点	評価ポイント	写真
景 観	非常に優れている 10点 優れている 7点 普通 5点	10点	山と川に囲まれ、地域住民一体となって維持管理、環境保全に努めてくる。加田喜沼湿原を含む景観が非常に優れている。	
地域住民の活動状況	(1) 集落の半数以上が参加 10点 集落の3割以上が参加 7点 その他（3割未満） 5点	10点	住民一体となって、維持・保全活動を実施している。	
	(2) 5年以上 10点 3年以上 7点 その他 5点	10点	平成13年から中山間地域等直接支払交付金、平成26年から多面的機能支払交付金による活動を続けている	
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※（項目数）×5点	10点	貴重な動植物が生息する加田喜沼湿原を、地域一体となって平成13年から保全し始め、同年11月に環境省の重要湿地に、14年2月には由利本荘市の天然記念物やに指定されている。  なお、地域内にある加田喜沼湿原は、「鳥海山・飛鳥ジオパーク」に指定され、地域住民の活動が評価されているとともに、今後、更なる活動が見込まれる。	 
			地元稲荷神社で3月に行われる梵天奉納祭を、地元若衆（青年会14人）が中心となり、保存しながら近郷近在の地域と交流を図っている。	
計		40点		

(別紙1)

## 「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

### 1 棚田等の概要

市町村名	由利本荘市			
地域の所在地	長坂			
棚田等の名称				
棚田等の状況	総面積	9.4 ha	棚田等の枚数	10枚
	作付面積	9.2 ha	標高	21～35 m
	休耕面積	2 ha	傾斜	1/9～1/98
	耕作放棄面積	0 ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合				
【組織名】長坂農村環境保全会（多面的機能支払） 長坂集落協定（中山間地域等直接支払）				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				
別紙のとおり				

### 2 推薦の理由

標高もそれほど高くなく、基盤整備で整った農地が大部分を占めるものの、山と川に囲まれて美しい景観の地域であり、地域が一体となって農地景観の維持管理、環境保全、伝統行事の継承を行っている。

### 3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》  
水稲 7.7 ha 飼料作物 8 ha 野菜ほか 7 ha 保全管理 2 ha



#### 4 地域が取り組んでいる環境・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

毎年3月に行われる梵天奉納祭り（由利本荘市無形民俗文化財指定）には地元若衆（青年会）が中心となり梵天を製作・奉納するとともに、福（餅）俵のほか五穀豊穡、商売繁盛、家内安全などを祈願する願書を奉納し、近郷近在の地域との交流を図っている。

標高30m程度の低標高に位置しながら、県内の生育地では500m以上の地点でしか確認されていない「ホロムイソウ」や「ハッチョウトンボ」が生育する加田喜沼湿原（凡そ4.1ha 由利本荘市天然記念物指定）は近年、葦が繁茂するなど希少な動植物の生育環境が危惧されていた。このことから地元では、沼地を囲む農道及び堤体の草刈りや沼地内の葦刈りなどを行い、地域資源の保全管理、保護活動を行っている。

#### 5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

地元稲荷神社で3月に行われる梵天祭は社殿に梵天を奉納するもので、男衆の揉み合いによる先陣争いの豪壮さが評判であり、毎年たくさんの観光客が訪れている。

浮島状の湿原である加田喜沼湿原は、約60種の多様な植物が生育し、本来標高が高い地域に生育するものや希少種もみられ、環境省の重要湿地にも指定されている。

#### 6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

加田喜沼湿原は由利本荘市のジオサイトに指定され、今後はさらなる活動が見込まれる。

担当連絡先	市町村・担当課・係	由利本荘市 農林水産部 農山漁村振興課 田園水産整備班
	職名・氏名	職名：主査 氏名：佐々木 崇嗣
	電話番号	0184-24-6355

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付











項目	配点	評価点	評価ポイント	写真
景観	非常に優れている 10点 優れている 7点 普通 5点	10点	急峻な地形でありながら、地域が一体となって農地を良好に維持管理しており、非常に優れた景観である。	
地域住民の活動状況	(1) 集落の半数以上が参加 10点 集落の3割以上が参加 7点 その他(3割未満) 5点	10点	住民一体となって、維持・保全活動を実施している。	
	(2) 5年以上 10点 3年以上 7点 その他 5点	10点	平成12年から中山間地域等直接支払交付金、平成26年から多面的機能支払交付金による活動を続けている	
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※(項目数)×5点	10点	山の中腹にある洞まで登り、無病息災、五穀豊穡を祈願する「洞参り」を200年以上守り続けている。洞参り後の演芸会も特徴的。	 
			地域住民で行う滝大運動会が100年以上も続いており、地域住民の結びつきが強い。	
計		40点		

(別紙1)

## 「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

### 1 棚田等の概要

市町村名	由利本荘市			
地域の所在地	滝			
棚田等の名称				
棚田等の状況	総面積	53ha	棚田等の枚数	30枚
	作付面積	35ha	標高	90～170m
	休耕面積	18ha	傾斜	1/10～1/99
	耕作放棄面積	0ha		
地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合				
【組織名】 滝環境保全会（多面的機能支払） 滝集落協定（中山間地域等直接支払）				
《地域の棚田等を紹介する写真を添付》				
別紙のとおり				

### 2 推薦の理由

急峻な地形でありながら、地域が一体となって急傾斜の農地を良好に維持管理している。また、高齢化が進む中、豊作祈願の洞参りなどの地元伝統行事を引き継いで守っている。

### 3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

水稻25ha 飼料作物6ha 野菜ほか4ha 保全管理18ha



#### 4 地域が取り組んでいる環境・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

毎年6月に豊作祈願の洞参り（地域内の山の中腹にある洞窟を参拝し、中で神事を行うもの。）を行っている。（作願い）

#### 5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

子吉川水系に属する芋川、滝川の流域に広がる山間集落であり、上流に民家がないことから、きれいな水を使用しておいしい米が作れる。

前述のとおり、豊作祈願の伝統行事である洞参りを行っている。

#### 6 その他

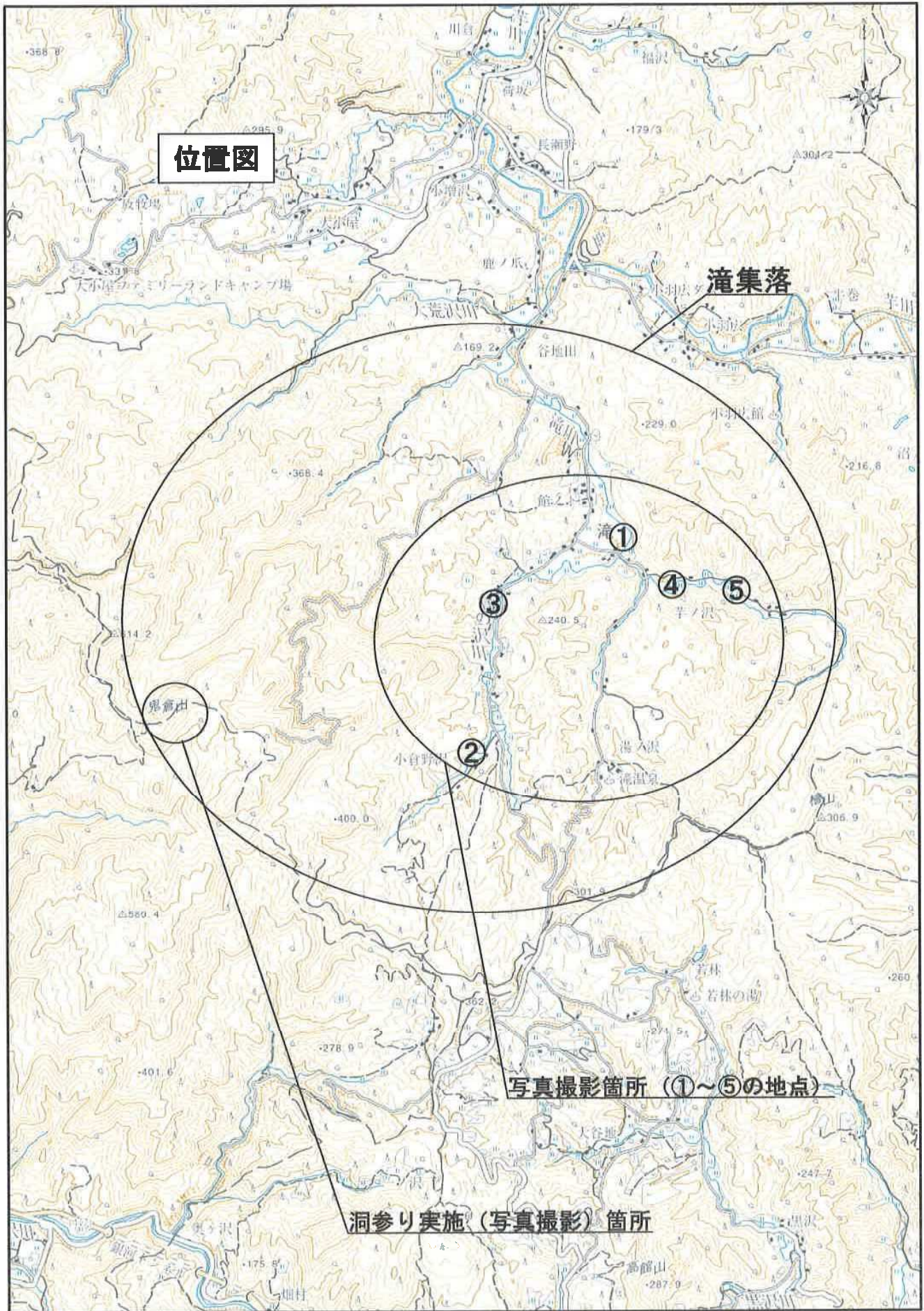
《その他特徴的な事項があれば記載》

洞参りで豊作祈願を行った後、プロと住民による演芸会を開催して農作業の疲れを癒やし、住民全員で毎年楽しんでいる。

担当連絡先	市町村・担当課・係	由利本荘市 農林水産部 農山漁村振興課 田園水産整備班
	職名・氏名	職名：主査 氏名：佐々木 崇嗣
	電話番号	0184-24-6355

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付



位置図

滝集落

鬼倉山

写真撮影箇所 (①～⑤の地点)

洞参り実施 (写真撮影) 箇所



①



①



2



2



③



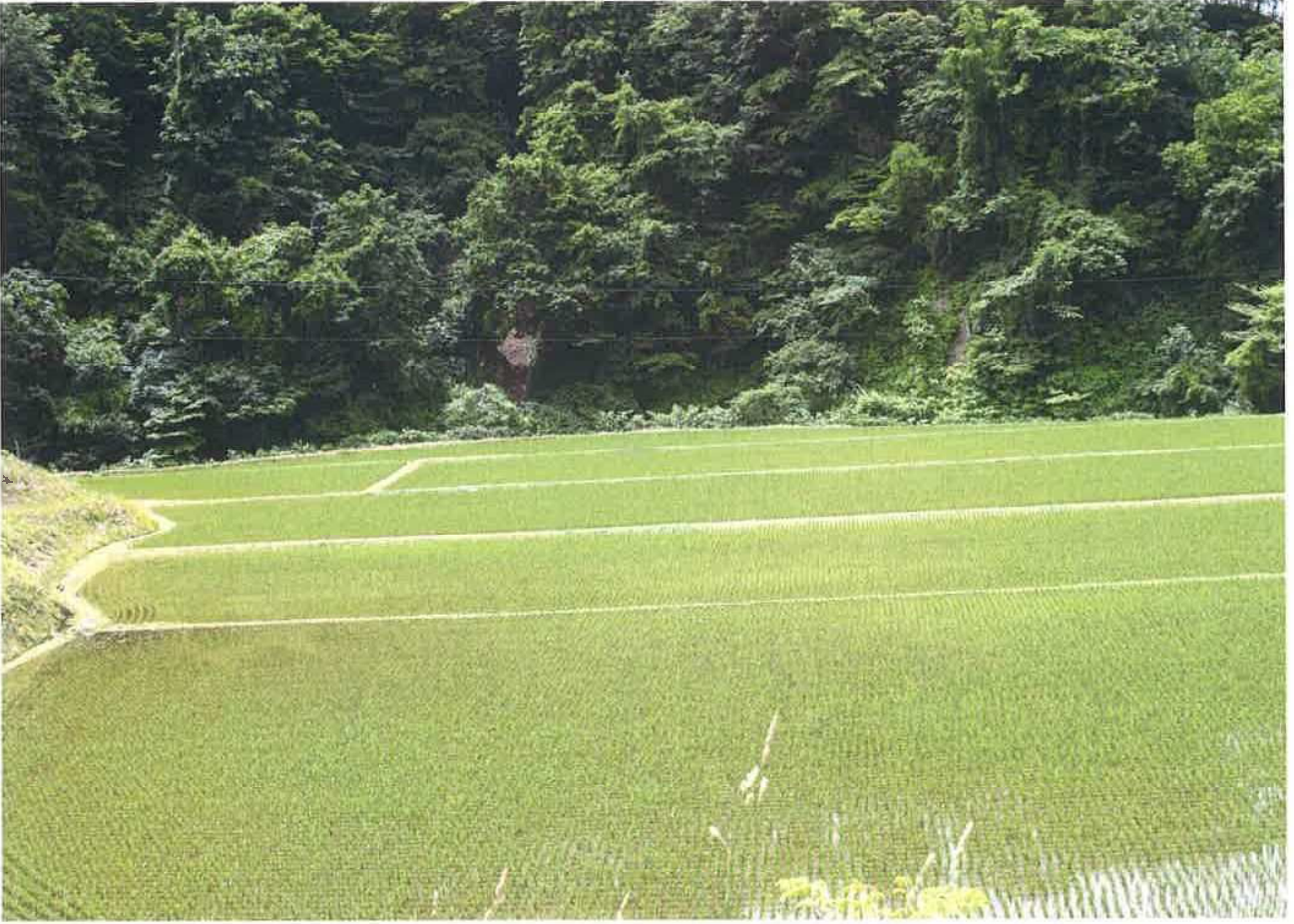
③



③



③



4



4



5



5





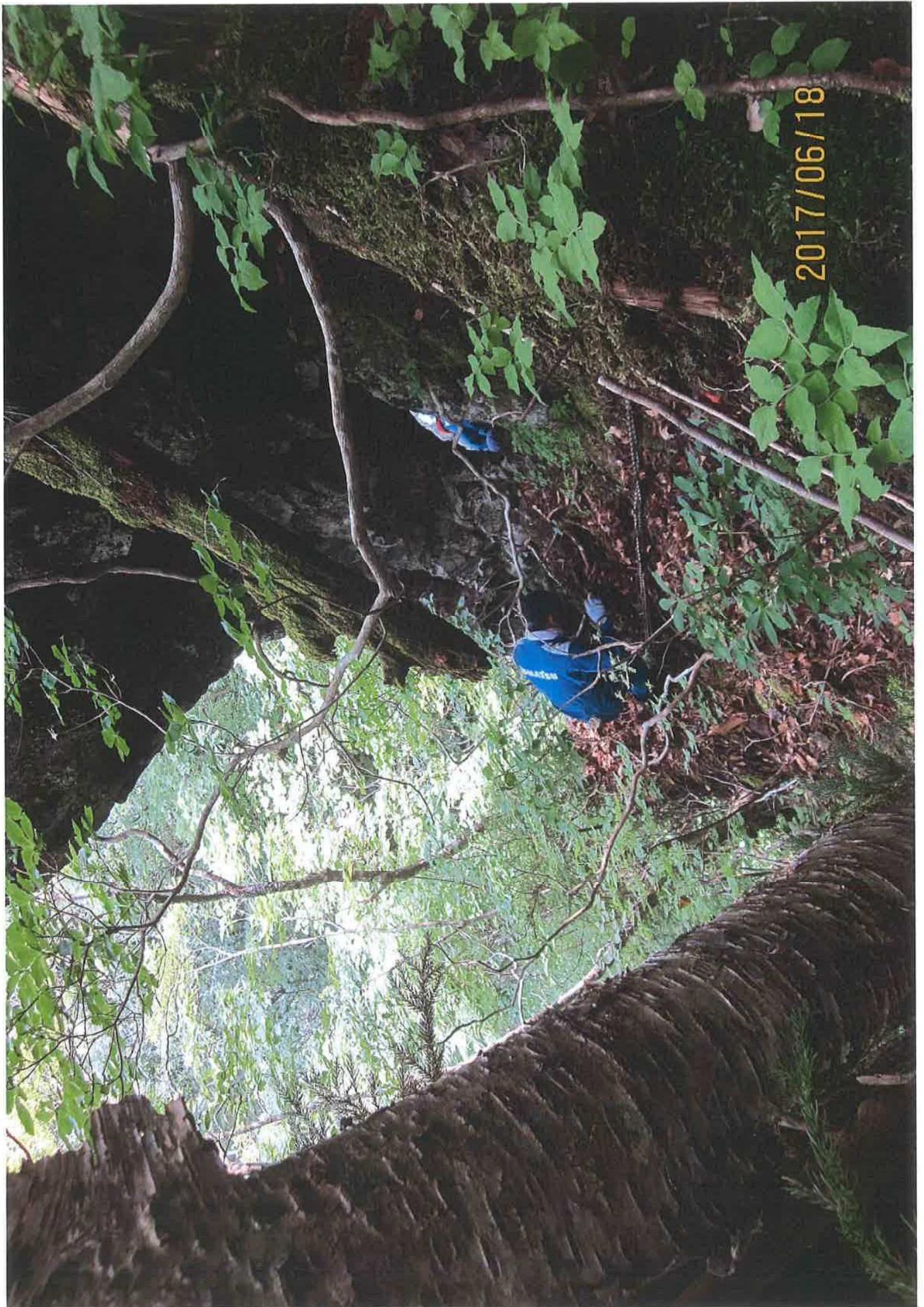
⑤

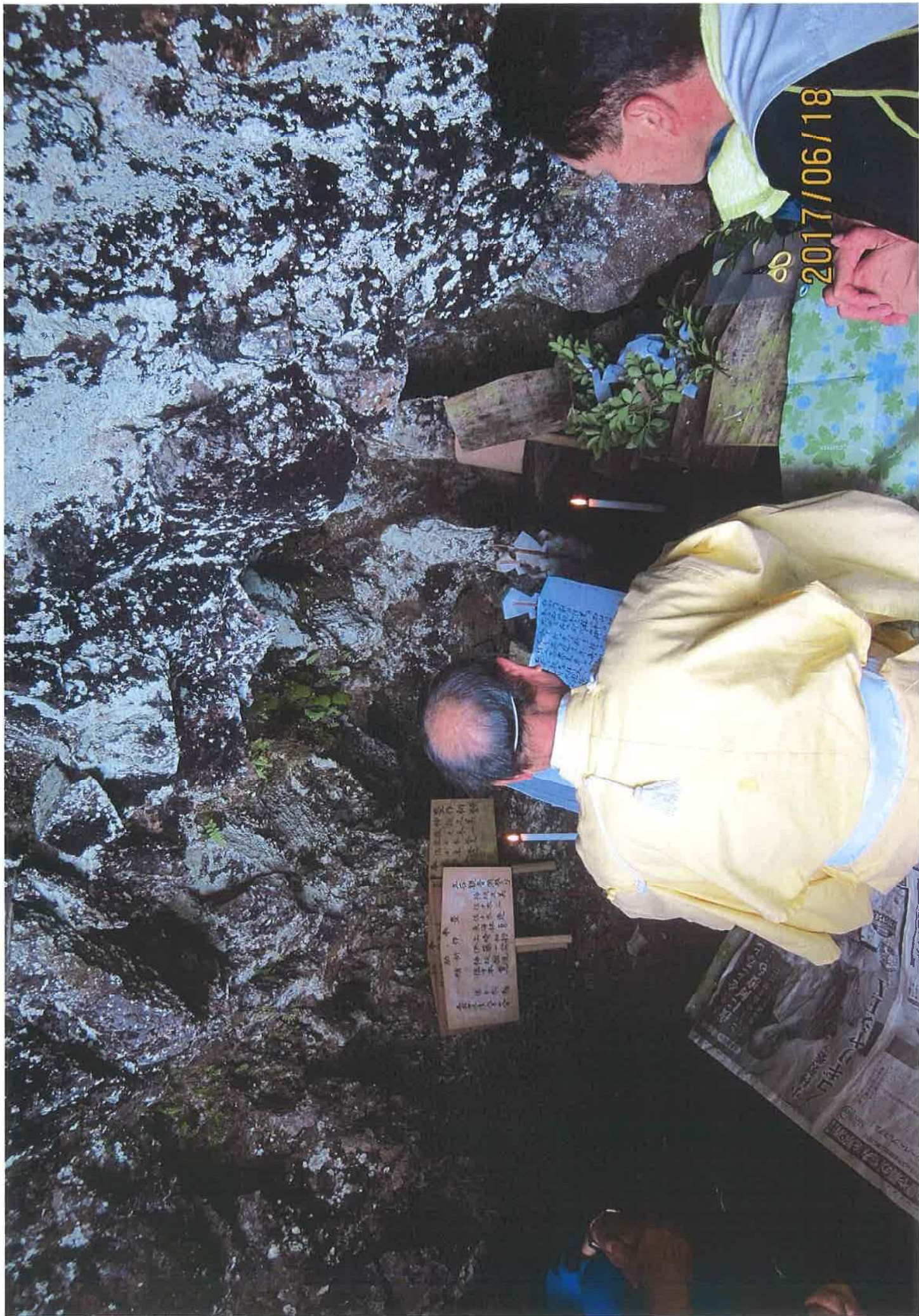


⑤



⑤












項目	配点	評価点	評価ポイント	写真	
景観	非常に優れている 10点 優れている 7点 普通 5点	10点	農地及び周辺環境保全と景観維持が積極的に行われており、美しい景観を維持している。		
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数	集落の半数以上が参加 10点 集落の3割以上が参加 7点 その他(3割未満) 5点	10点	集落の8割が参加して活動するなど、地域住民一体となって共同活動を実施している。	
	(2) 活動の継続年数	5年以上 10点 3年以上 7点 その他 5点	10点	平成19年度から多面的機能支払交付金に取り組み、草刈りや農道の敷砂利、水路補修を実施している。	
	P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※(項目数)×5点	15点	「花いっぱい運動」や水質モニタリング調査を実施し、地域内の景観や環境について子ども達と一緒に考えている。	
				地域コミュニティの向上を図るため「しめ縄作り」の勉強会を行っている。	
			主要道路脇に地域住民が誰でも利用できる直売所を開設し、地域内外との交流が図られている。		
計		45点			



(別紙1)

## 「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

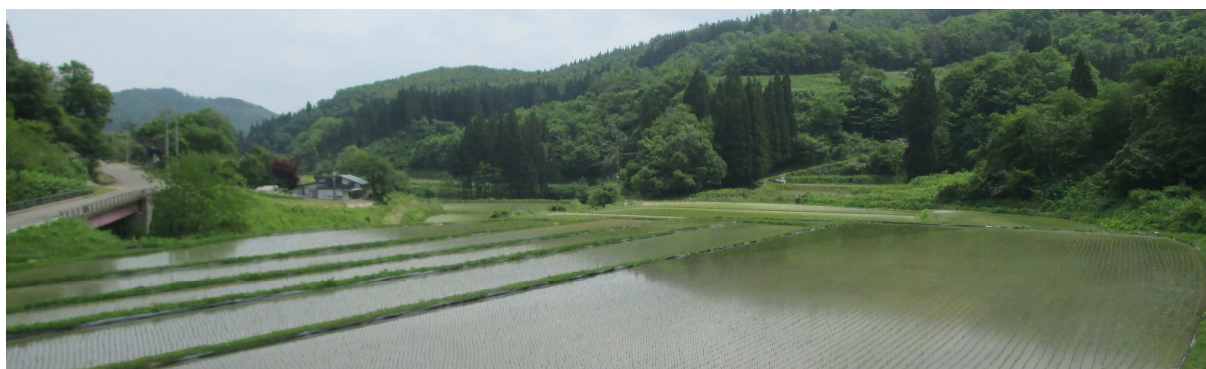
### 1 棚田等の概要

市町村名	大仙市			
地域の所在地	大仙市南外字下釜坂、岩瀬、赤畑、黒滝、菅ノ沢			
棚田等の名称	釜坂地域			
棚田等の状況	総面積	21.5ha	棚田等の枚数	101枚
	作付面積	18.3ha	標高	73.0～98.1m
	休耕面積	0.2ha	傾斜	1/12～1/15
	耕作放棄面積	0ha		

地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合

【組織名】釜坂活動組織

《地域の棚田等を紹介する写真を添付》



## 2 推薦の理由

本地域は、先祖代々から受け継がれてきた農村環境を守りながら、集落を基礎として営農に勤しまれてきた棚田地域である。

平成19年からは、多面的機能支払交付金事業を活用し、地域の農業生産基盤である農用地と周辺の環境保全と景観維持に力を入れた農村環境向上活動が積極的に行われており、今日まで美しい棚田等の景観を保全している。

以上の理由から、本地域を「守りたい秋田の里地里山50」に推薦するものである。

## 3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況を記載》

営農状況は、畜産や林業も営んでいるが、農業では水稻が主である。

保全状況は、春の農用地と周辺施設の点検から始まり、地域一体の草刈りや農道の砂利敷き及び水路補修が地域ぐるみで実施されている。また、防災面では県で作成した防災ため池ハザードマップなどを参考に、大雨や洪水時にはため池等の見回りを行い地域の防災パトロールも適時に行っている。

## 4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

地域を流れる湯元川やため池の水質保全を毎年計画しており、水質モニタリングの実施と記録管理を地域へ周知しながら、保全と環境美化に力を入れている。また、景観活動においては、「花いっぱい運動」として県道に隣接した集落花壇への花の植栽から管理を子供から大人までを対象とし、地域ぐるみで行う交流活動の場を提供している。

## 5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

国道105号から県道30号線に入り山あいを進むと現れる新緑の山間風景と先人が傾斜地に築いた美しい棚田が目に入る。棚田などの維持管理は大変な作業であるが、地域の人々は先祖から受け継いだ大切な財産として地域の農村景観をずっと守り続けている。

基盤整備された田園風景を見慣れた昨今では、昔ながらの山間風景はどこか懐かしく、田植え前の水張り時の水田は特に美しいことから、ここを通り（訪れ）癒される人は少なくはない。

## 6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

荒廃農地が増加傾向にある中、この地域の耕作放棄面積はゼロである。市では、市の独自事業「未来へつなぐ農村地域サポート事業」により、山間地の地域を対象に里山保全や農作業サポート等を支援しており、今後も人と自然が共存し、集落全体で守られているこの地域が、この先も次世代へ受け継がれていくことを熱望している。

●釜坂地域での「花いっぱい運動」



●伝統文化の保存として「しめ縄作り」の勉強会



●最寄りの直売所「人気の山菜は、あっという間に品切れ状態」



担当連絡先	所属	大仙市農林部 農林整備課 農村整備班
	職名・氏名	職名：副主幹 氏名：佐々木直樹
	電話番号	0187-63-1111 (内線244)

※その他添付資料

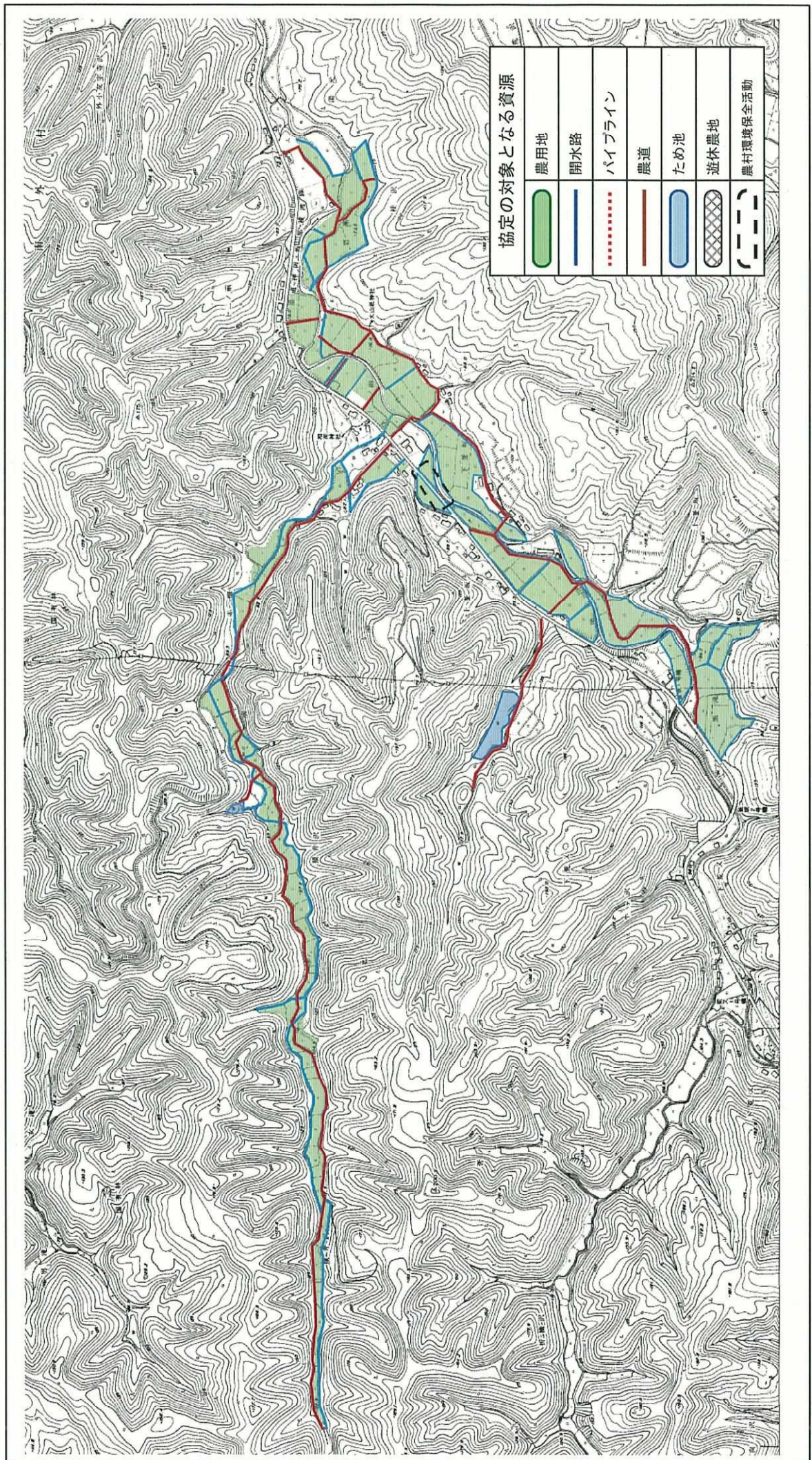
- ・位置図 (1/25,000)
- ・平面図 (1/2,000) 程度の図面
- ・写真位置図 (撮影方向を記載)
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付



(別紙)

協定対象区域図面

組織名： 釜坂活動組織



項目	配点	評価点	評価ポイント	写真
景観	非常に優れている 10点 優れている 7点 普通 5点	10点	和賀岳や白岩岳の裾野に広がる農村地帯で、住民一体となって維持保全活動され、優れた景観である。	
地域住民の活動状況	(1) 活動の参加人数 集落の半数以上が参加 10点 集落の3割以上が参加 7点 その他(3割未満) 5点	7点	集落の約3割以上が参加して棚田や水路、農道等の維持管理に努めている。	
	(2) 活動の継続年数 5年以上 10点 3年以上 7点 その他 5点	7点	平成27年度から中山間地域直接支払交付金に取り組んでいる。	
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※(項目数)×5点	20点	五穀豊穡、無病息災を祈願する「ささら舞」を地域の若者が行うなど伝統分化の継承が図られている。	
			平成14年から地域住民による「白岩村おこし〜プロジェクトS〜」が立ち上がり、ヒデコやトンビマイタケの栽培で村おこしを行っている。	
			地域独自で「白岩夢畑」という直売所を設置し、住民であれば誰でも好きなものを登録・販売できるシステムで、交流活動の拠点となっている。	
			歴史ツーリズムや外国人留学生のホームステイ受入などの取組が評価され、秋田県農山村活力向上モデル地域に指定されている。	
計		44点		

(別紙1)

# 「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

## 1 棚田等の概要

市町村名	仙北市			
地域の所在地	仙北市角館町白岩上ノ台、寺山、愛宕山、館山天神堂			
棚田等の名称	白岩地域			
棚田等の状況	総面積	12.0 ha	棚田等の枚数	124枚
	作付面積	12.0 ha	標高	140～160 m
	休耕面積	0.0 ha	傾斜	1/19～1/28
	耕作放棄面積	0 ha		

地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合

【組織名】白岩集落協定（中山間地域等直接支払）



## 2 推薦の理由

本地域は、和賀岳や白岩岳といった1,000m級の山々の裾野に広がる農村地帯で、山間の集落という立地上、ほとんどの営農区域が棚田地域である。

平成27年に中山間地域等直接支払制度を活用するための団体「白岩集落協定」が地域住民により組織され、環境保全や景観維持、施設の長寿命化を図るための活動が積極的に行われており、ホタルが数多く生息するなど美しく豊かな棚田等の景観が創出されている。

以上の理由から、本地域を守りたい秋田の里地里山50に推薦する。

### 3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況》

- ・営農は、稲作と牧草が半々である。
- ・定期的に草刈りや水路等の補修・補強を実施し、環境保全・景観維持が図られている。

### 4 地域が取り組んでいる環境保全・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

- ・中山間地域等直接支払制度を活用し、地域住民が一体となり、棚田や水路、農道等の維持保全活動が実施されている。
- ・「白岩夢畑」という直売所を設置し、地域住民が誰でも好きな物を登録・販売できるというシステムが整備され、地域住民の交流活動拠点となっている。

### 5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

- ・毎年、8月の盆には五穀豊穡・無病息災を願って地域の若者が「ささら舞」を行っている。この「ささら舞」は県の無形民族文化財に指定されている。
- ・2002年から地域の住民有志で結成された「白岩村おこし〜プロジェクトS〜」という団体により、農村地域の特色を活かした村おこしが行われており、山菜の女王と呼ばれるヒデコ（シオデ）やトンビマイタケの栽培を集落ぐるみで行っている。また、外国人留学生のホームステイ受け入れや、歴史ツーリズムの推進などの取り組みが評価され、2009年には秋田県農山村活力向上モデル地域に指定された。
- ・この地域は農業用水・生活用水として「田沢疏水」が流れており、土地改良区でも様々な取り組みを行っている。



### 6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

- ・ホタルが数多く生息しており、田を飛び交うホタルの大群を見ることができる。

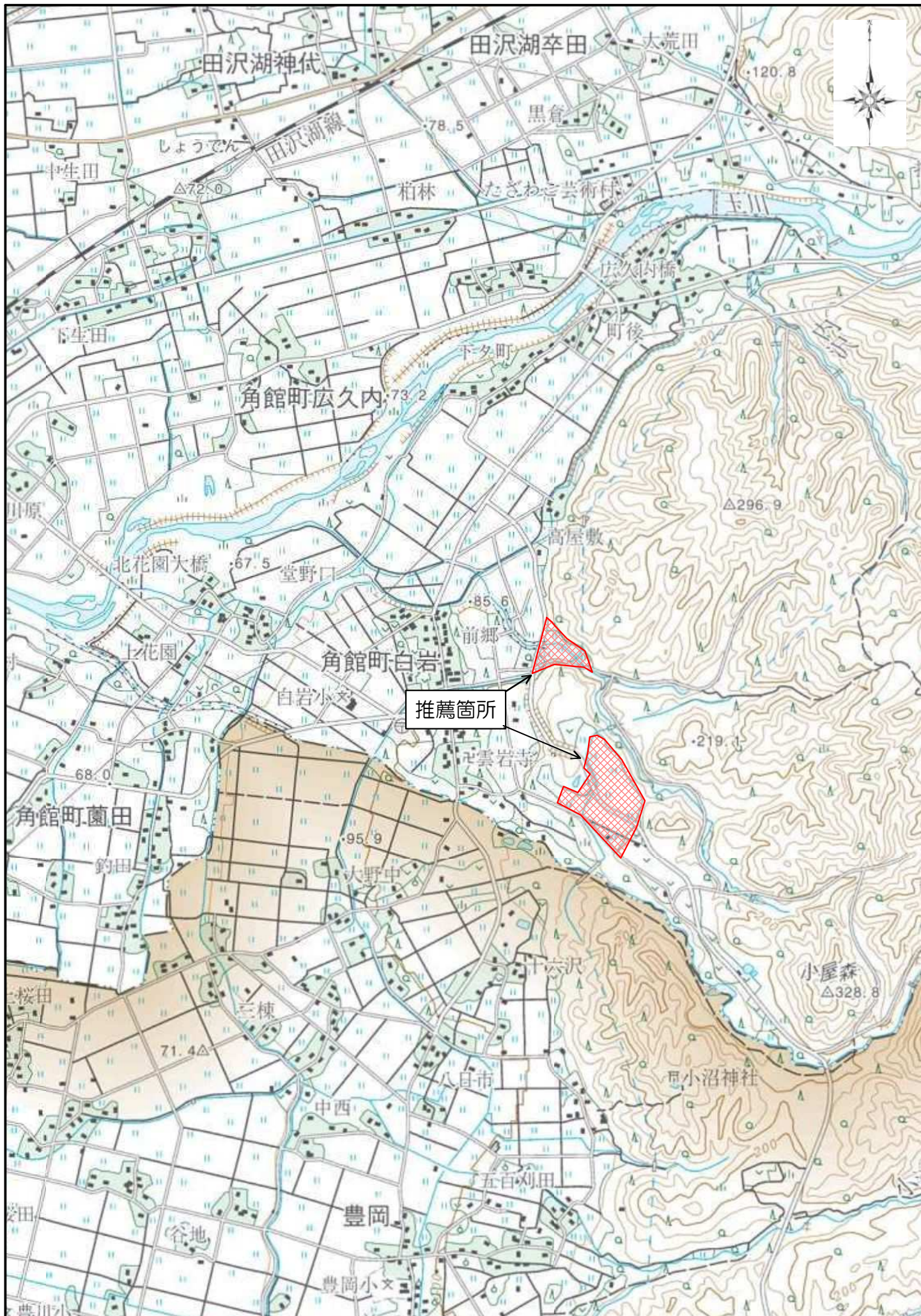




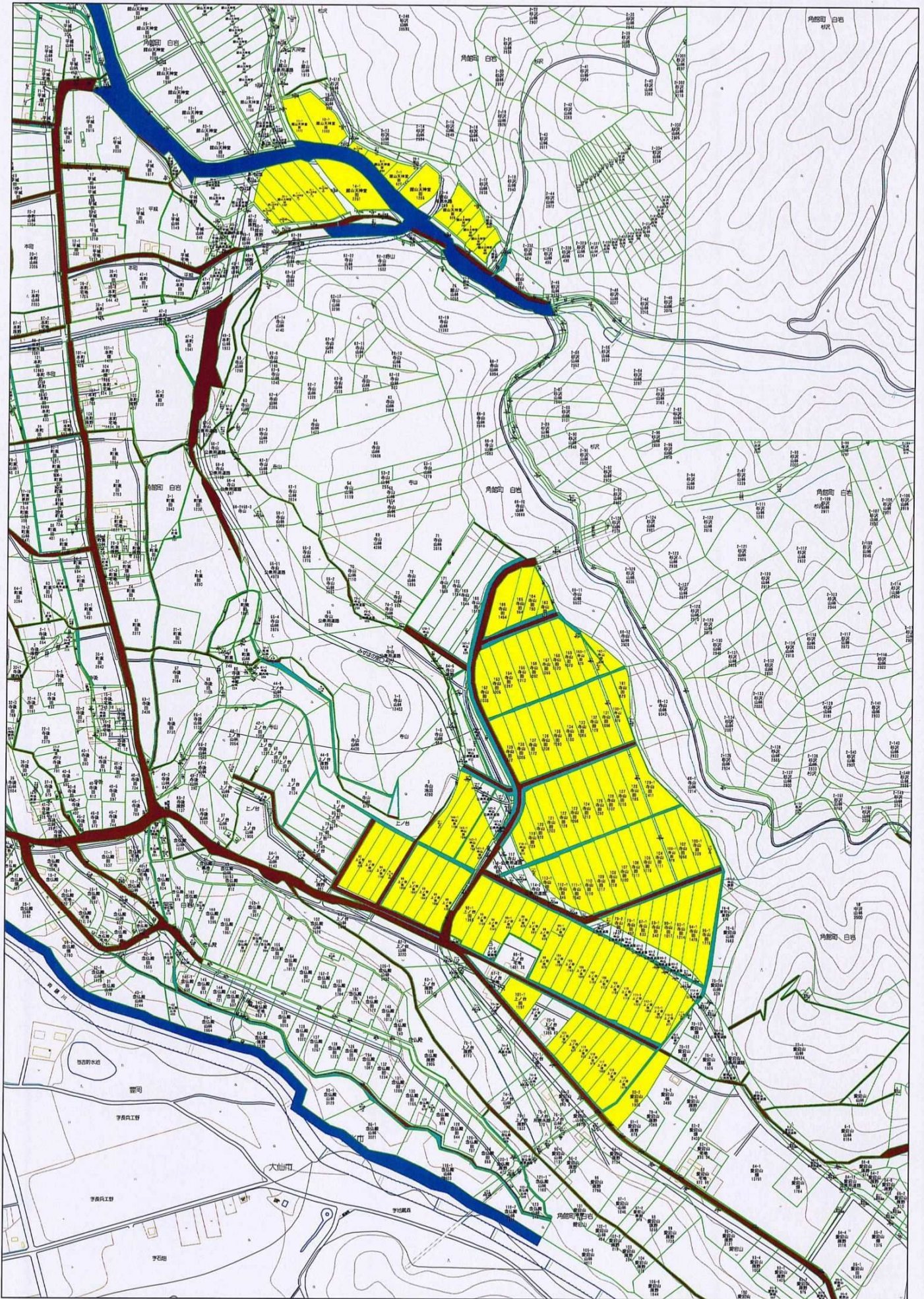
担当連絡先	所属	仙北市農林部農山村活性課
	職名・氏名	主事 小山 拓良
	電話番号	0187-43-2207

※その他添付資料

- ・位置図（1/25,000）
- ・平面図（1/2,000）程度の図面
- ・写真位置図（撮影方向を記載）
- ・その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付



# 全体図



1:4000

0

100

500m

-75-

仙北市

美しいヒデコ(シオデ)の里

# 白岩 しらいわ 地域 イラストマップ



角館市街地まで  
車で15分

抱返り溪谷まで  
車で10分

白岩では山菜の女王  
ヒデコ(シオデ)の栽培に  
取り組んでいます。

【車の場合】

- 白岩小学校 → 雲巖寺 … 約3分
- 白岩小学校 → ①のビューポイント … 約3分
- 雲巖寺 → ②のビューポイント … 約5分
- 雲巖寺 → ③のビューポイント … 約10分
- 雲巖寺 → ④のビューポイント … 約7分

項目	配点	評価点	評価ポイント	写真
景観	非常に優れている 10点 優れている 7点 普通 5点	10点	山に囲まれた水田地帯に築300年を超える茅葺屋根の民家があり、農村の原風景にふさわしく優れている。	
地域住民の活動状況	(1) 集落の半数以上が参加 10点 集落の3割以上が参加 7点 その他(3割未満) 5点	10点	日本型直接支払制度を活用し、集落の半数以上が参加して農地の維持保全を行っている。	
	(2) 5年以上 10点 3年以上 7点 その他 5点	10点	平成12年から中山間地域等直接支払交付金、平成26年から多面的機能支払交付金による活動を続けている	
P R ポイント	1項目5点、満点を20点とする。 ※(項目数)×5点	15点	昭和48年に国指定重要文化財に指定されている鈴木家住宅が地域にあり、現在も所有者家族が居住している。 茅葺屋根のある原風景を守り続けている。	
			毎年8月に、地域をあげて行われる「魚つかみどり大会」を開催し、いろんな地域との交流を行っている。	
			地域内にあるG・T施設「沢の子の杜 わか杉」の運営・管理に携わっており、地域資源の特性を活かした体験プログラムで子どもから大人まで幅広く交流している。	
計		45点		

# 「守りたい秋田の里地里山50」推薦調書

## 1 棚田等の概要

市町村名	羽後町			
地域の所在地	羽後町飯沢字先達沢、中神、中飯沢			
棚田の名称	中飯沢地域			
棚田等の名称	総面積	57ha	棚田等の枚数	55枚
	作付面積	53ha	標高	150~250m
	休耕面積	4ha	傾斜	1/18~1/26
	耕作放棄面積	0ha		

地域内に日本型直接支払制度（多面的機能支払・中山間地域等直接支払）を活用している組織がある場合

【組織名】中飯沢集落協定、飯沢資源保全会

《地域の棚田等を紹介する写真を添付》



## 2 推薦理由

水田と水田を囲む山地の中に築100年を超える茅葺屋根の民家があり、本地域は農村の原風景にふさわしい地域である。

一部休耕地があるものの営農に一体的な広がりがあり、地域住民が景観や環境を保全する活動を行うなど維持管理が行き届いている。

### 3 地域の営農・保全の状況

《現在の営農・保全の状況》

現在の営農は大半が水稲である。

平成12年より中山間等直接支払交付金、平成26年より多面的機能支払交付金を活用し、地域ぐるみで農道・水路の補修、畦畔、農用地の草刈り等の活動を実施している。

### 4 地域が取り組んでいる環境・交流活動の状況

《現在取り組んでいる地域特性を活かした取組等を記載》

水路の泥上げや草刈りを春から晩秋にかけて実施して地域全体の環境保全に努めている。

### 5 地域の特徴

《地域の自慢や地域をPRする特徴的な事項等を記載》

棚田を見下ろす丘の上に国の重要文化財である鈴木家住宅がある。江戸時代中期に建てられた当時の農家の住宅であり、現在も所有者家族が居住している住宅としては東北最古である。

所有者である鈴木家は慶長期の検地帳に名前が見える旧家で、源義経家臣・鈴木三郎重家を祖とすると伝えられる。

### 6 その他

《その他特徴的な事項があれば記載》

- ・農業体験交流施設「沢の子の杜 わか杉」  
旧飯沢小学校を改築し、平成19年から地域住民により運営されている。  
地元の食材を使った食事や、田植え、川遊び等地域資源の特性を活かした体験プログラムが用意されており、例年約550人の利用者が訪れる。
- ・飯沢魚つかみ取り大会  
平成2年より盆時期に毎年開催されており、例年800人程が参加している。

担当連絡先	市町村・担当課	羽後町 農林課 農山村整備担当
	職・氏名	職名：主任 氏名：小坂 孝広
	電話番号	0183-62-2111内線311

その他添付資料

- ・ 位置図（1/25,000）
- ・ 平面図（1/2,000）程度の図面
- ・ 写真位置図（撮影方向を記載）
- ・ その他保全活動や地域の活動について関連資料があれば添付



